

近畿学校保健学会通信

No.105

平成 15 年 5 月 23 日発行
近 畿 学 校 保 健 学 会 事 務 局
〒657-5801 神戸市灘区鶴甲 3-11
神戸大学発達科学部石川研究室内
TEL & FAX 078-803-7737
kinkigakkohokengakkai@yahoo.co.jp
振替口座 00940-5-181826

目 次

第 50 回近畿学校保健学会（平成 15 年度年次学会）開催要項及びプログラム	・・・2
「近畿学校保健学会 50 周年記念誌」の編集について	・・・8
近畿学校保健学会 50 年記念事業基金についてのお願い	・・・9
平成 15 年度 第 1 回幹事会議事録	・・・10

第 50 回近畿学校保健学会(平成 15 年度年次学会)開催要項

1. 学会長 奈良教育大学教授 北村陽英

2. 事務局 〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学学校保健研究室

第 50 回近畿学校保健学会事務局

事務局長 中谷昭(奈良教育大学教授)TEL&FAX 0742-27-9234,9233

E-mail kitamura@nara-edu.ac.jp

振替口座 00900-1-179176(郵便振替)第 50 回近畿学校保健学会

3. 開催日 平成 15 年 6 月 28 日(土)

4. 会場 奈良育大学 大講義室、講義室

〒630-8528 奈良市高畑町 TEL 0742-27-9233、9234

5. 日程

6 月 28 日(土) 受付 8:30～

9:00～11:00: 一般演題発表

11:45～12:30: 50 周年記念シンポジウム「学校保健の過去、現在、未来」

12:30～13:45: 評議員会(昼休み)

13:45～14:30: 総会

14:30～15:00: 会長講演

「児童生徒への精神保健活動ー過去 30 年あまりの経験より」

15:00～17:00: シンポジウム

「児童生徒の心身の健康と学校保健活動上の問題」

6. 参加費(含資料費)

正会員 3,000 円(年会費) 当日会員 2,000 円 当日学生会員 1,000 円

7. 参加申込

学会員の有無に関係なく、また近畿内外を問わず、当日参加を歓迎します。返信用封筒(あて名及び 80 円切手付き)を上記事務局あてに送付いただければ、6 月中旬までにプログラム等を送付致します。

なお、一般演題発表者は共同研究者を含めて正会員になる必要があります。会員でない方は、「近畿学校保健学会事務局」に入会手続きをしてください。

※近畿学校保健学会事務局

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11 神戸大学発達科学部内

TEL&FAX:078-803-7737 郵便振替口座 00940-5-181826

8. 一般演題申込

発表希望者は、演題申込用紙に必要事項を記入のうえ、平成 15 年 4 月 10 日までに第 50 回近畿学校保健学会事務局あてに申し込んでください。折り返し講演集用オフセット印刷原稿用紙をお送りします。

また今年度は、「養護教諭実践報告」を特に募集します。

9. 懇親会

6 月 28 日(土)18 時より、学会会場近くの NTT 会館(予定)にて懇親会を開催します。お気軽にご参加ください。当日受付でのお申し込みも歓迎します。会費は 5,000 円(予定)です。

第50回近畿学校保健学会プログラム

50周年記念シンポジウム 28日(土)11:15～12:30 A会場

テーマ:近畿学校保健の過去、現代、未来を語る

司会:勝野眞吾(兵庫教育大学教授生活・健康系講座)

コメンテーター:上林久雄(大阪教育大学名誉教授)

武田眞太郎(和歌山医科大学付属看護短期大学学長)

林 正(滋賀大学名誉教授)

北村陽英(奈良教育大学教授学校保健研究室)

高田恵美子(香芝市立下田小学校養護教諭)

学会長講演 28日(土)14:30～15:00 A会場

テーマ:児童生徒への精神保健活動一過去30年あまりの経験より

座長:石川哲也(神戸大学教授発達科学部)

講師:北村陽英(奈良教育大学教授学校保健研究室)

シンポジウム 28日(土)15:00～17:00 A会場

テーマ:児童生徒の心身の健康と学校保健活動上の問題

司会:大手信重(奈良県医師会学校医部会長)

シンポジスト:北村栄一(奈良県精神科医師)

上田保秀(奈良県歯科医師会理事)

北村翰男(奈良県薬剤師会学校薬剤師部理事)

峠かな子(大宇陀町立大宇陀小学校養護教諭)

一般演題(口演7分、討論3分) 6月28日(土)9:00～11:10

B会場

保健学習・授業 (9:00～9:40) 座長

B-01 活動意欲を高める保健学習指導法の工夫

○北井利枝(都祁村立六郷小学校)

B-02 自己肯定感を高める選択履習授業の実践

○山下美登里(兵庫教育大学学校教育研究科)

B-03 養護教諭がかかわる人間科学習

○間壁恵子(滋賀大学教育学部附属小学校)

B-04 科目「保健」の授業実態についての調査研究

○大道乃里江、小山健蔵、白石龍生(大阪教育大学)、柳井勉(関西福祉科学大学)、後藤章(大阪教育大学)

総合学習・カリキュラム(9:40～10:20) 座長

B-05 「からだ」をテーマに各学年で取り組んだ総合的な学習

○橋本敏子(元虎姫高等学校養護教諭)

B-06 中学生の生活習慣確立に向けてー「総合的な学習」による指導の効果

○内海みよ子(和歌山県立医科大学看護短期大学部)、五十嵐裕子(神戸大学発達科学部附属明石中学校)、岡田由香(神戸大学発達科学部)、辻 久美子、森岡郁晴、有田幹雄(和歌山県立医科大学看護短期大学部)、白石龍生(大阪教育大学)、宮下和久、武田真太郎(和歌山県立医科大学衛生学教室)

B-07 小学校段階におけるライフスキル教育カリキュラム試案の作成

○倉富護(兵庫教育大学大学院学校教育研究科生活健康系講座)、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大学)

B-08 教員養成機関におけるライフスキル教育指導者用プログラムの開発(2)ーライフスキル教育に関するニーズ及び関連要因等の分析

○西岡伸紀、勝野眞吾、倉富護、野田知加子、永井純子、長谷川ちゆ子 (兵庫教育大学生活・健康系教育講座)

健康教育・院内学級 (10:20~11:00) 座長 宮下和久(県立和歌山医科大学)

B-09 英国の学校におけるPersonal Social and Health Education(PSHE)に関する研究

○森脇裕美子(兵庫教育大学生活・健康系教育講座)、石川哲也(神戸大学発達科学部)、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大学生活・健康系教育講座)

B-10 女子高校生における骨密度測定と健康教育

○西牧真里(関西福祉科学大学)、渡部路子(大阪府立摂津高等学校)、岡本里奈子(大東市立灰塚小学校)

B-11 児童の生活習慣に関する一研究ー公立・私立小学校における比較について

○田丸倫子、大道乃里江、白石龍生、小山健蔵(大阪教育大学)

B-12 奈良県における院内学級の現状と課題ー長期入院児童・生徒の学習権の保障をめぐる

○阪中順子(橿原市立大成中学校)、南田和世(橿原市立今井小学校)、竹下京子(奈良医科大学付属病院A棟4S)、朴永東 吉岡章(奈良医科大学小児科)

C会場

保健指導・保健室運営 (9:00~9:40) 座長

C-01 保健室管理の簡略化と情報活用について

○中川雅永(奈良県立北大和女子校等学校)、奈良県高等学校等養護教育研究会(情報グループ)

C-02 10分勝負の保健指導

○中村昌代(奈良市立田原小学校)

C-03 保健室医薬品使用の問題点

○古田敬子、岡崎延之(大阪女子短期大学)

C-04 養護学校における予防内服の支援についてー保健所との連携

大清水宏美(大阪府立八尾養護学校)、松下彰宏(東大阪市保健所)、○磯田宏子(大阪府立八尾養護学校)

学校保健活動・連携 (9:40~10:20) 座長

C-05 中学校における教育相談体制と養護教諭としてのかわりについて

○高木喜代美(香芝市香芝北中学校)

C-06 校内ネットワークを利用した保健室来室者連絡の試み

○西牧真里(関西福祉科学大学)、河野志保(大阪府立鳥飼高等学校)

- C-07 学校保健委員会を組織活動の中核に一地域と学校の連携を図るために
○中岡千恵子(西宮市立生瀬小学校)
- C-08 健康相談活動支援体制整備事業に携わって一校外の医療機関・関係機関との連携
○大川尚子(関西女子短期大学)
- 学校事故・安全教育 (10:20~10:50) 座長 八木保(京都大学)
- C-09 養護教諭の専門性から考察した学校事故に対する危機管理の在り方—喪失体験の視点から
○菊地美奈子(大阪府立箕面東高等学校)、徳山美智子(愛知女子短期大学)
- C-10 学校管理下における死亡事例の分析—1989年から10年間の事例について
○長谷川ちゆ子(兵庫教育大学生生活・健康系教育講座)、松嶋紀子(大阪教育大学)、西岡伸紀 勝野眞吾(兵庫教育大学生生活・健康系教育講座)
- C-11 “けが”に学ぶ～子ども達への安全教育活動のとりくみ
○野澤章子(西宮市立広田小学校)
- 歯科保健 (10:50~11:10) 座長 寺田光世(京都教育大学)
- C-12 加齢と永久歯萌出との関連について
○白石龍生(大阪教育大学)、後和美朝(大阪国際大学)、北口和美(西宮市教育委員会)、亀高美果(ヒューマンアカデミー)
- C-13 高校生の不正咬合に対する認識度とその実態について
○澤山美佐緒(京都教育大学附属高等学校)

D会場

- 喫煙・性教育(9:00~9:30) 座長 辻井啓之(奈良教育大学)
- D-01 小学校における喫煙防止の保健指導について
梅村朋子(真美ヶ丘第一小学校)、○米田寛子(唐院小学校)
- D-02 短大生の喫煙行動と喫煙関連要因について(1)—短大生の喫煙行動の現状
○美馬信 小松智子(大阪女子短期大学)、大平曜子(兵庫大学)、楠本久美子(四天王寺国際仏教大学短期大学部)、山根允子(湊川女子短期大学)、山本映子、野谷昌子(関西女子短期大学)、須藤勝見(大阪教育大学)
- D-03 高校における性教育体制整備への取り組みに関する一考察
○菊地美奈子(大阪府立箕面東高等学校)、徳山美智子(愛知女子短期大学)
- 精神保健 (9:30~10:10) 座長
- D-04 中国人留学生の疲労と生活
○佐伯洋子(大阪明浄女子短期大学)、中神勝(京都ノートルダム女子短期大学)
- D-05 女子大生の生活習慣と「こころ」の健康
○藤原寛(京都府立医科大学小児科)、井上文夫(京都教育大学学校保健研究室)
- D-06 短期大学生の精神的健康度について
○木村洋子(奈良県立医科大学看護短期大学部)、北村陽英(奈良教育大学学校保健研究室)
- D-07 学童期における抑うつ度調査
○西能代(京都市立境谷小学校)、江寄和子(京都市立崇仁小学校)、野村達也(京都教育大学)、松浦賢長(福岡県立大学地域看護学講座)

- 栄養・糖尿病 (10:10～10:40) 座長 白石龍生(大阪教育大学)
- D-08 学齡期小児の食生活・栄養摂取の14年間の変化—微量栄養素について
○永井純子、野田知加子、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大学)、吉本佐雅子(鳴門教育大学)、松浦尊磨(五色健康福祉総合センター)
- D-09 学齡期小児の食生活・栄養摂取の14年間の変化—中学2年生の栄養素摂取量の変化
○野田知加子、永井純子、西岡伸紀、勝野眞吾(兵庫教育大学)、吉本佐雅子(鳴門教育大学)、松浦尊磨(五色健康福祉総合センター)
- D-10 1型糖尿病児の思春期における問題点
○大矢紀昭、田中小百合、西島治子、泊祐子(滋賀医科大学学地域生活看護学講座)
- 肥満 (10:40～11:10) 座長 山本公弘(奈良女子大学)
- D-11 小学生の不定愁訴と肥満との関連
○井上文夫、藤原寛(京都教育大学体育学科)
- D-12 学齡期の肥満および高レプチン血症がインスリン抵抗性に及ぼす影響
○宮井信行、寺田和史、山本博一、宮下和久、武田眞太郎(和歌山県立医科大学衛生学教室)、後和美朝(大阪国際大学)、白石龍生(大阪教育大学)、五十嵐裕子(神戸大学附属明石中学校)、北口和美(西宮市教育委員会)、辻久美子、内海みよ子、森岡郁晴、有田幹雄(和歌山県立医科大学看護短期大学部)
- D-13 夏季休業中に行った肥満指導についての一考察
○ 松永かおり(大阪市立勝山小学校)

日程表 (6月28日土曜日)

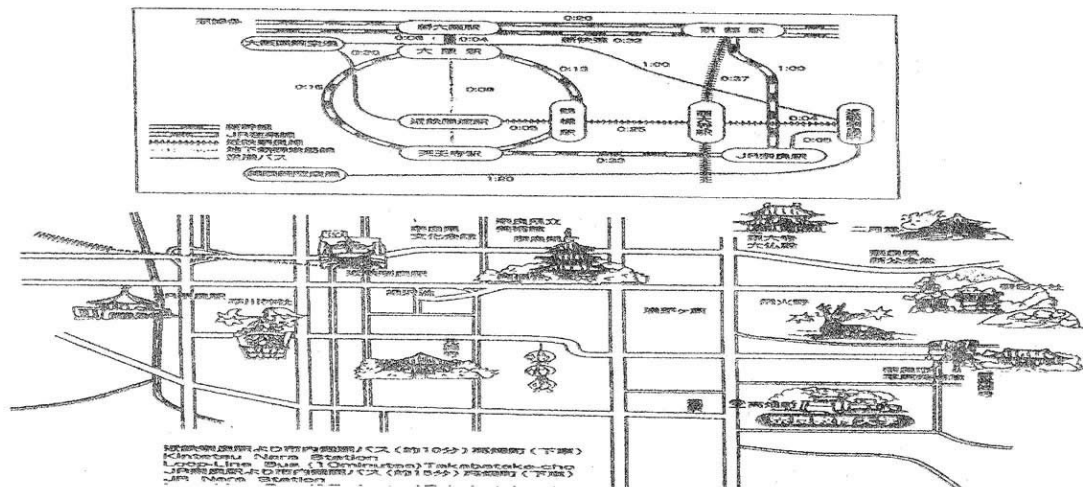
8:30		11:15		12:30 13:45 14:30 15:00		17:00		
A 会 場	8:50 9:00			50周年記念シンポジウム 近畿学校保健の過去、現代、未来を語る	総会	学会長講演	シンポジウム 児童生徒の心身の健康と学校保健活動上の問題	閉会式
B 会 場	受付	開会式	一般演題 保健学習・授業 総合学習・カリキュラム 健康教育・院内学級		評議員会			
C 会 場			一般演題 保健指導・保健室経営 学校保健活動・連携 学校事故・安全教育 歯科保健					
D 会 場			一般演題 喫煙・性教育 精神保健 栄養・糖尿病 肥満					

会場案内

● 会場（奈良教育大学）への交通
○ 奈良交通バス「高畑町」下車、すぐ。

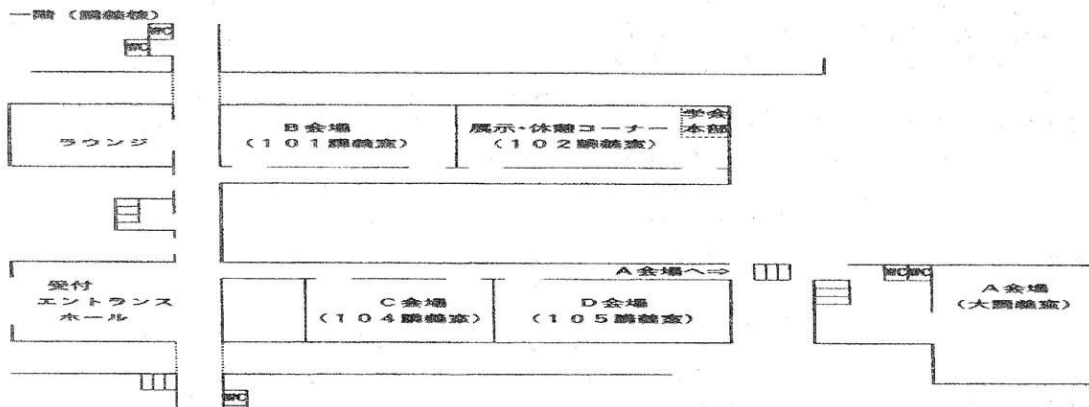
※会場に駐車場はございますが、駐車台数に限りがありますので、バスなどをご利用ください。

● 会場（奈良教育大学）への案内図



会場内案内

- | | | |
|--------------|-------|---------------|
| 1. 共通行事 | ----- | 1階エントランスホール |
| 受付 | ----- | B会場（1階101講義室） |
| 一般演題発表 | ----- | C会場（1階104講義室） |
| | ----- | D会場（1階105講義室） |
| 総会 | ----- | A会場（1階大講義室） |
| 50周年記念シンポジウム | ----- | A会場（1階大講義室） |
| 学会長講演 | ----- | A会場（1階大講義室） |
| シンポジウム | ----- | A会場（1階大講義室） |
| 2. 評議委員会 | ----- | B会場（1階101講義室） |
| 記念会および議事 | ----- | |
| 3. シンポジスト控室 | ----- | 2階201講義室 |
| 4. 展示・休憩コーナー | ----- | 1階102講義室 |



「近畿学校保健学会 50 周年記念誌」の編集について

近畿学校保健学会 50 周年記念誌編集長 武田眞太郎

標記記念誌の内容の大綱については、すでに一昨年兵庫教育大学での第 48 回近畿学校保健学会総会において報告しておりますが、その後 50 周年記念事業企画委員会の委員が記念誌の編集委員を兼ねることとなり、鋭意資料の収集、編集に当たってきました。50 周年を間近に控え、ようやく編集作業も最終段階を迎え印刷部数、印刷製本の日程等出版社との最後の打ち合わせをする時期になっております。

そこで、ほぼ全貌が明らかになってきた記念誌の概要を改めて紹介します。

記念誌のメインタイトル：まだ決定しておりません。表紙のデザインも含めて会員の方々からの具体的なご提案を歓迎します。A4 版、ソフトカバーを予定しています。

出版予定：第 50 回の年次総会の記録、記念写真等も収録する関係で、本年 10 月中の完成をめざしております。限定出版で、記念事業参加申込者への頒布が原則ですから、11 月 1～3 日神戸で開催されます第 50 回日本学校保健学会までには、申し込み者のお手元に直接届けられることになります。

収録内容：

近畿学校保健学会「50 年のあゆみ」年表——この記念誌の最初に、近畿学校保健学会のこの 50 年間の足取りの概要を先ず把握することが大事であるとの考えから、「50 年のあゆみ」について、年表の形で、本学会創設以前からのわが国の学校教育と学校保健管理の歴史的な流れ、ならびに、社会一般の動きを背景に、第 1 回からの毎回の年次学会における特別講演・シンポジウムなど企画物のテーマ・講師等を表記することにより、本学会の位置付けと足取りが俯瞰できるよう、心がけました。個々の表面化した事実の背後に流れる学校教育を動かしてきたいくつかの錯綜した大きなうねりを読み取ってもらえれば、との想いがこめられています。[刷り上がり 25 ページ]

近畿学校保健学会への「そのときどきの想い」——過去 50 回の年次総会には、それぞれの時代の社会情勢、教育課題、健康課題等が反映されています。ここでの記述は、これを各年次学会長のなまの声によって再現しようとしたものです。とはいえ、初期の学会長には、学会開催に当たっての意図表明等の記録のない場合も多いので、他の関係資料で補填した箇所もあります。また、それぞれの時代の動きの読み取りに有効だと考えられる関係者のコメントなども適宜取り上げました。

なお、便宜上 50 年の期間を 4 期に分け、『今にして思えば……』というような意味あいで、そのそれぞれの期の意義づけ等をコメントした「編集委員の声」を挿入しました。さらに学校保健の専門職種それぞれの立場からみた学会 50 年のあゆみも「編集委員の声」として最後にまとめて掲載しました。

その他、学会通信に掲載された論評、学会印象記、全国学会との関連についての記述などを適宜挿入しました。また、社会的にも大きなインパクトのあった阪神淡路大震災や堺市の腸管出血性大腸菌 O-157 の集団感染などのニュースもそれぞれの時代を反映する事象として、そのときどきの記録や社会的反響などを写真、統計資料なども含めて挿入するよう努めました。[刷り上り 175 ページ、なお未収録分の若干のページ数が上乗せされます]

近畿学校保健学会のこれまでとこれから——近畿学校保健学会の回想とこれからの展望、抱負などを名誉会員その他の関係者、さらには、将来の本学会を担うべき新進気鋭の会員の方々にエッセイ風の原稿を新たに寄せてもらいました。[現在受けつけている分の刷り上がり 21 ページ、なお未到着分の原稿のページ数が上乗せされます]

資料「一般口演 演題 目録」——近畿学校保健学会会員の一人ひとりの足跡をたずねて、過去 50 回の年次学会の一般演題のリストを共同研究者も含むフルネームで、発表当時の所属についても記載のあるものはすべて収録しました。[刷り上がり 46 ページ]

以上のように総ページ数約 280 ページに及ぶ貴重な記録を集めた記念誌が出来上がろうとしております。まだ記念事業への参加申し込みを済まされていない方は頒布部数によって制作部数を決定する関係で、混乱を避けるため、至急申し込みをされるようお願いいたします。

「近畿学校保健学会50年記念事業基金」についてお願い

近畿学校保健学会50周年記念事業実行委員長
勝 野 眞 吾

近畿学校保健学会50周年記念事業に関わる(1)近畿学校保健学会50周年記念誌、(2)第50回年次学会(奈良:6月)における近畿学校保健学会50周年記念シンポジウム-近畿学校保健学会の過去・現在・未来、(3)第50回日本学校保健学会共同パネル・ディスカッション(神戸:11月)の三企画は発行、開催に向けての準備が順調に進んでおります。

近畿学校保健学会50周年記念事業は、会員のご賛同のもとに、先生方から納入いただく記念事業基金により運営されます。記念事業基金を納入いただいた会員には近畿学校保健学会50周年記念誌をお送りいたします。また追加部数をご希望の場合には廉価(1部3,000円の予定)でお分けいたします。追加部数をご希望の場合は、印刷の関係から6月末日までにご希望部数を近畿学校保健学会事務局まで御連絡ください。連絡には同封の振込用紙をご利用下さい(振込用紙には既に6000円と印刷してありますが、必要部数に応じて金額の書き直しをお願いします)。

これまでに下記にお名前を挙げさせていただきました192名の学会員の先生から総額1,152,000円の記念事業基金の納入をいただきました。しかし、まだ必要な予定額2,000,000円には達しておりません。

つきましては、近畿学校保健学会50周年記念事業基金納入をお忘れの先生におきましては、基金納入を再度お願いいたします。また、すでに納入いただいております先生におかれましても、ご寄付を賜ることができましたら幸甚に存じます。

近畿学校保健学会50周年記念事業基金納入者名(2003年3月31日まで)

明瀬好子、東 真美、油谷桂朗、有田幹雄、有山雄基、安藤 格、猪尾和弘、五十嵐裕子、石川哲也、磯田宏子、板持紘子、市木美知子、一色 玄、伊藤路子、稲田 浩、稲田武彦、井上文夫、井原義行、今井佳代子、岩田明、上野奈初美、上延富久治、植村良雄、上本未夏、鵜飼大策、榎本佑子、大手信重、大橋郁代、大矢紀昭、大山良徳、大山 肇、岡崎延之、奥田幸子、柿内順子、柏井洋臣、勝木洋子、勝野眞吾、角道静枝、金井秀子、釜谷仁士、萱村俊哉、川崎千佳子、川畑徹朗、川端典子、川畑愛義、上林久雄、北口和美、北野美波、北野延子、北村庄衛、北村陽英、北村翰男、北村由美、北村李軒、北山勘解由、木戸増子、木下 裕、君羅 満、木村一彦、京都市学校医事務局、京都府医師会、京都府学校薬剤師会、楠 裕子、楠本久美子、栗山千代美、黒田基嗣、黒田種樹、更家 充、肥塚正宏、後藤 章、後藤英二、小西博喜、小西俊子、小林久幸、小山健蔵、後和美朝、近藤文子、佐伯洋子、左海伸夫、坂口弘一、坂本吉正、桜井久恵、澤優枝、澤田佳久、澤山美佐緒、嶋田健男、志村美好、下村尚美、白石龍生、白木文代、杉浦守邦、須藤勝見、瀬戸 進、高折和男、高島 洋、高橋洋子、高村久美子、竹内かよ子、竹田斌郎、武田真太郎、武元前川、田城麻紀、橋 重美、立石博之、田中洋一、田中雅子、谷掛駿介、谷川尚己、田附孝子、玉井太郎、辻 立世、辻あさみ、辻井啓之、出井梨枝、出口和邦、虎谷良雄、中井久純、永井純子、中神 勝、中川八重、中谷 昭、永松真理子、中村清美、中村靖男、名村雪子、西 能代、西尾久英、西岡伸紀、西信元嗣、西牧真里、西村宏美、西村敬子、野々上泰信、野村繁雄、橋本敏子、長谷川ちゆ子、畑佐泰子、浜口達子、林 正、播磨谷澄子、坂東まさえ、東山書房、平野登志子、広田進、福田伊玖子、福本絹子、藤井美恵子、藤居正博、藤岡千秋、藤澤晨一、藤田大輔、藤本正三、藤森 弘、藤原 寛、古田敬子、堀内康生、梶田和子、松岡 弘、松岡 収、松岡勇二、松嶋紀子、松原周信、三浦正行、水上みさ子、水野由美子、三矢亮子、南 哲、宮下和久、

三好信久、村井洋子、村尾由子、森内 徹、森内伸和、森岡郁晴、八木 保、八木 哲、柳生善彦、保田好秀、安田忠男、柳井 勉、山名康雄、山平美代子、山本信弘、山本咲子、山本博信、山本公弘、横尾能範、吉岡隆之、吉岡 章、吉田熙延、吉本佐雅子、米田幸雄、冷水和雄、川口吉雄、

平成 15 年度 第 1 回近畿学校保健学会幹事会議事録

日時：平成 15 年 4 月 26 日 午後 2 時より 奈良教育大学

出席：石川、板持、川畑、北村、楠本、後藤、小山、白石、須藤、武田、寺田、西岡、林、堀内、八木、山本、横尾

議題

1 第 50 回近畿学校保健学会プログラムについて

北村陽英学会長から第 50 回近畿学校保健学会プログラム原案について説明され、50 周年記念シンポジウムの時間を 15 分短縮して、一般演題と重ならないように変更した後、原案が承認された。

2 名誉会員の推薦について

名誉会員として後藤英二、竹田武郎、南條徹の 3 名の先生が、大阪府、奈良県、滋賀県から推薦され、それぞれの代表幹事からの推薦理由の説明、質疑の後採決が行われ、全員一致で承認された。

3 監事選出について

石川哲也幹事長から未定であった監事として、角道静枝（大阪市立三国中学校）評議員提案があり、承認された。

報告

1 第 50 回記念事業進捗状況について

近畿学校保健学会 50 年記念事業基金について、集まり具合が悪いので再度通信を通して行うこととした。